

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 事業最適化部会（第5回）

議事要旨

日時：令和7年11月12日（水） 13時30分～14時30分

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

1. 開会

2. 審議事項

（1）中間まとめについて

- これまでの委員のご意見や多摩ロードレースの視察等を踏まえ、『中間まとめ』として整理。
- 1つ目、開催のあり方・都民支持について
 - ロードレースの周回コースの設定や両大会の連携開催の可能性の検討が必要
 - 長距離の交通規制による地元負担について検討が必要
 - ファミリー層から上級者まで、多くの参加者が楽しめる自転車イベントの展開
- 2つ目、収入増・新たな価値創造について
 - レインボーライドを主体としたブランディングの推進
 - BNY や UCI など海外連携の推進によるブランド価値向上の好循環の可能性
 - スポンサー露出が少なく、一層の工夫が必要
- 3つ目、費用対効果について
 - ロードレースの周回コースの活用等による費用削減の検討が必要
 - 安全対策費については、安全面を第一に考えたうえで引き続き経費を精査
 - 両大会の運営方法・費用の効率化を検討
- THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 の評価について
UCI から運営・安全面で高評価を得ており、沿道観戦・ネット観戦共に多くの方に見ていただいた。来場者や SNS でも肯定的な評価が多く、ポテンシャルがある一方、住民からの多くの問い合わせ等があった。

- 以上の内容を踏まえ、多摩ロードレースについては、GCT 事業全体として考える必要があることから、レインボーライドの視察結果等も踏まえ、引き続き検討と整理した。

(2) 12月7日レインボーライド 2025・マルチスポーツの視察について

- 次に、「レインボーライド、マルチスポーツ」の視察について、主な視察項目は以下の通りである。
- 1つ目、開催のあり方について
地域へのメリット及び負担、フィニッシュエリアのイベントの状況
ボランティアの活動状況、マルチスポーツの状況
- 2つ目、収入増・新たな価値創造について
会場装飾、スポンサーとの連携、映像配信
- 3つ目、費用対効果について
安全対策に係る資機材、スタッフの配置状況
- 以上の視察項目について、「レインボーライド参加チーム」、「ポイント視察チーム」の2つに分け、確認を行っていただく。

【委員からの質問・意見 なし】

3.その他

(1) 今後の部会のスケジュールについて（予定）

①令和7年12月7日

第6回 レインボーライド視察

②令和8年1月

第7回 レインボーライドの視察及び大会関係者のヒアリングの結果について

③令和8年2月

第8回 GCT 実行委員会への提案内容まとめ（最終まとめ）

【委員からの意見・質問 なし】

4. 閉会